

南丹市水洗化総合計画(案)に関する意見募集の結果

No	御意見	市の対応方針
1	<p>人口が少なく広大な地域を有するわが市にあっては、下水道事業の独立採算は難しく、下水道料金は既に府内市の最高額であるため、一般財源からの繰り入れはやむを得ないものと考えます。</p> <p>このため、下水道料金の値上げに反対します。</p> <p>しかし、①次世代に負担を残さないこと。②下水道事業を継続していくこと。③耐震化等大規模災害対策の推進。を目的に、説明責任を果たし市民の理解を得て、経営努力を重ねた上で、他市とのバランスも考慮した最小限の値上げであれば、やむを得ないものと考えます。</p>	<p>下水道経営の方針を明確に市民に示し、安易な下水道使用料の改定にならないように、今後必要な対策を推進します。</p> <p>そのためにも、水洗化総合計画で課題と対策等を示し、市民の皆さんに理解を求めるものです。</p>
2	<p>深刻な人口減少・高齢化社会を迎え、税収の減少と社会保障費の増大等により、市の行財政は、破たんする恐れがあるため、現サービスの提供は不可能であり、全事業、全施設のより一層の集中と選択による縮小・廃止等が必要な状況です。</p> <p>下水道事業については、計画(案)により、さらに統合、縮小、廃止、スペックダウン及び計画的な災害対策を速やかに推進していただきたい。</p> <p>現在、統廃合の検討が進められている処理区について、資料のとおり維持管理費でも赤字である上、施設や機器の更新や大規模修繕等が発生すればさらに多額の赤字となるため、投資額や更新機器が少ないうちに、早期に統廃合を進めていただきたい。</p> <p>加えて、合併浄化槽に変更することを含めた検討をお願いします。(合併浄化槽は、福知山市と同じような集合処理と一律の下水道料金を徴収し、市が設置し維持管理も行う方式等の検討をお願いします。)</p>	<p>下水道施設の効率的な維持管理のため、処理区の統廃合を推進します。</p> <p>また、人口減少に伴う使用料の減収と施設管理費等の支出の増大による格差が大きくなる傾向があるので、近い将来、集合処理から個別処理へと転換を検討しなければならない処理区が出てきたときには、浄化槽設置整備も含めて総合的に検討をしていきます。</p> <p>【第1回審議会資料 P16 参照】 合併処理浄化槽 個人設置型と市町村設置型</p>
3	<p>下水道事業は、殆どが人口や処理水量の増加を見込んで実施されていることから、人口減少により、一部の機器が処理規模とミスマッチとなって、必要以上の電力等を消費していると考えられます。</p>	<p>ストック(施設)マネジメント(管理)計画を策定し、健全な維持管理に努め、適正な時期に施設の改築更新を推進していきます。</p>

No	御意見	市の対応方針
	<p>こういった機器について、ライフサイクルコスト等を検討の上、廃止やダウンサイジング、スペックダウンを実施し、併せて長寿命で効率的で省エネの機器の導入を計画的に進めていただきたい。</p>	
4	<p>硫化水素が発生する箇所では、施設の劣化が著しい傾向にあります。施設の長寿命化の対策として、このような箇所を早期に調査し、防錆処理等の対策を講じていただきたい。</p> <p>また、更新機器については、ライフサイクルコスト等を検討の上、対策済の機器導入を検討していただきたい。</p>	<p>下水道管渠に悪影響を及ぼす硫化水素が発生すると思われる箇所は、把握しています。</p> <p>既に過年度、相応の対策を講じており、今後も経年的に点検を実施していきます。</p>
5	<p>下水道管は、国道等の地下に入っていますが、近年下水道管の老朽化による道路陥没による車両事故等が全国的に増加しているため、より一層の予防保全等を進めていただきたい。</p>	<p>計画的な施設点検を実施する中で健全な維持管理に努め、適正な時期に施設の改築更新を推進していきます。</p>
6	<p>下水道事業は、土木・建築・電気・生物等の専門技術が必要な上、下水道施設の更新工事等は、施設を供用しながらの工事となるため、建設時に比べ割高な工事費に加え、高い技術力と経験が要求されます。</p> <p>アウトソーシングはもちろん必要ですが、施設管理者及び発注者としての責任を果たすため、技術職員の確保や育成に努めていただきたい。</p>	<p>南丹市として、また今後公営企業となる下水道事業体として、技術力の維持、継承は必要不可欠なことであり、今後も職員研修や実務の中から、研鑽を積みながら技術力向上に努めていきます。</p>
7	<p>市街地浸水対策について、関係機関等と連携し、園部川等の河川改修推進に全力を挙げて対応してください。</p> <p>しかし、河川改修には相当の日時を要するため、当面、市街地でのマイクロ呑龍や公共空地等での遊水機能の確保の一層の推進や、使われていない農地を遊水地とするなどの推進を図るべきと考えます。</p>	<p>近年、低気圧や台風の大型化により、豪雨による一時的な排水機能が停滞し、市街地の浸水被害が出てきています。</p> <p>市民の安心・安全の確保のため、京都府とも連携し、南丹市全体で防災対策、安全対策を講じていきます。</p>